



ジーエヌアイ、「IBC 第3回国際会議・展示会」で発表
～がんの新規薬剤ターゲット（キナーゼ）の同定とバリデーションの研究成果～

日本と中国における先進創薬企業の株式会社ジーエヌアイ（以下ジーエヌアイ）は、同社専務取締役CSO ジュン・ウーが2008年5月9日（金）に京王プラザホテルにて行われる「IBC第3回国際会議・展示会 - 創薬研究開発サミット」のスピーカーとしてカンファレンスに参加することを発表いたします。ジーエヌアイは、本イベントのブロンズ・スポンサー企業でもあります。

キナーゼはがん細胞シグナル伝達の中心的役割を果たすとされ、広く研究されています。すでにがん治療のために、他社においていくつかの阻害剤が承認されたり臨床開発段階にあります。今回の研究発表は、上海のジーエヌアイ科学者により発見された、がんの新規薬剤ターゲット（キナーゼ）を取り上げています。薬剤ターゲットは、細胞周期の制御があるとされています。これらキナーゼの阻害は、がん細胞の増殖阻害と悪性腫瘍の抑制につながる可能性があります。他社との共同研究により、ジーエヌアイは新しいがん治療の効果が期待される小分子化合物を開発しています。

ジーエヌアイについて

2001年に設立された臨床段階の国際的な創薬企業（本社東京）です。2005年6月に上海ジェノミクス（2001年設立）を買収し、中国上海において臨床試験等の重要な事業活動を行っています。また日中の一体化した強みを生かし、他の国際的製薬企業との共同研究を行ってきました。福岡および中国の北京、天津、鄭州にも事業拠点を持っています。詳細は、ホームページ www.gnipharma.com と www.shanghaigenomics.com をご覧下さい。